

新年明けましておめでとうございます。

毎年お正月に、お世話になった方や友人から届く年賀状は嬉しいものです。しかしながら、最近ではインターネットやスマートフォンの普及にともない、電子メールで新年の挨拶をされる方も多くなっており、年賀状を送るという文化が減少傾向にあることには、一抹の寂しさを感じます。

最近の鉄道の車内は、スマートフォンをはじめとする、携帯端末とにらめっこし続けている人たちで溢れています。それが良いのか悪いのかは、人それぞれの意見があると思いますが、少なくともICTにより私たちの生活が新たな時代を迎えているのは間違いのないと思います。鉄道においても、これまで長い間

その安全運行を支えてきた軌道回路に代わり、無線通信技術をはじめとするICTを活用した新たな列車制御システムが注目されています。本誌では、そのような「列車制御の新時代」に向けた研究開発や支援技術を紹介しました。そう遠くない未来に、みなさまがよく利用する線区の手窓から見えていた信号機がなくなる日が来るかもしれません。そんな新たな視点で鉄道の旅を楽しんでみるのはいかがでしょうか。

次号の特集は、「鉄道施設の診断技術」です。各種施設や設備の状態を把握するとともに、修繕などの必要性を診断する最新の技術をご紹介します。ぜひご期待ください。(K. N.)